



劇団民藝公演

装置 勝野英雄
照明 前田照夫
衣裳 衣裳
効果 宮本宣子
岩田直行
舞台監督 中島裕一郎
出演 河野しずか
船坂博子
望月ゆかり
いまむら小穂
森田咲子
野田香保里
井上晶
佐々木梅治
神敏将
保坂剛大
橋本潤
滑川龍太
一之瀬朝登
西野裕貴
日景眞
大崎謙介

やさしい猫

原作 中島京子 著「やさしい猫」(中央公論新社刊) 脚本 小池倫代 演出 丹野郁弓



“家族みんなで暮らしたい、ただそれだけ”
ささやかな幸せが壊されていく危機を
ともに乗り越えていく家族のものがたり。

2026年9月11日(金) 16時開演(15時30分開場)
エポックなかはら(川崎市総合福祉センター)ホール

神奈川文化プログラム



本公演は、神奈川県マゲカル展開
促進補助金の助成を受けて実施し
ています



【ミユキ】
森田咲子



【クマラ】
橋本 潤



【マヤ】
井上 晶



【マツコ】
船坂博子



河野しずか



望月ゆかり



いまむら小穂



野田香保里



佐々木梅治



神 敏将



保坂剛大



滑川龍太



一之瀬朝登



西野裕貴



日景 真



大崎謙介

原作 中島京子 著「やさしい猫」(中央公論新社刊)

脚本 小池倫代 演出 丹野郁弓

やさしい猫

シングルマザーの保育士ミユキさんが好きになった人はスリランカ人青年の自動車整備士クマラでした。愛称クマさんと、ずっと一緒に暮らしたい。ところがある日、在留資格手続きにおける警察と出入国在留管理局の理不尽な対応によりクマさんはオーバーステイで収監されてしまうのです。守られるべき人権はどこに。奔走するミユキさんに娘のマヤとおばあちゃんも加わり、弁護士の恵先生の手も借りて、当たり前前の幸せを求める家族のたたかいが始まるのでした……。

「小さいうち」「FUTON」などの人気作で知られる中島京子さんの小説「やさしい猫」(21年)を初の舞台化。震災ボランティアで惹かれあい、恋におちた相手が「外国人」だったというだけでささやかな日常が壊されて……。日本の入管行政に翻弄される家族を描いたこの問題作は各メディアで話題となり吉川英治文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、貧困ジャーナリズム特別賞を受賞。テレビドラマ化され反響を呼びました。民藝では『海霧』『シズコさん』などで手腕をふるう小池倫代さん脚本により、感動的な愛の物語をつむぎます。



2026年 9月11日(金) 16時開演(15時30分開場)

エポックなかはら(川崎市総合福祉センター)ホール

◎前売り開始 7月28日(火)

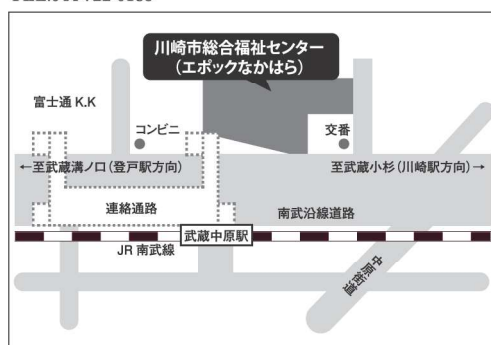
◎入場料金(全席自由・税込み)

一般……………2,500円
シニア割引(60歳以上)……………2,000円
U30チケット(30歳以下)……………2,000円
川崎市民割引……………2,000円
バリアフリー割引……………2,000円

◎お申し込み・お問い合わせ

劇団民藝 TEL.044-987-7711

〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中6-22-5
TEL.044-722-0185



JR南武線「武蔵中原駅」徒歩1分
※改札口を出て右側の駅から続く連絡通路をご利用ください。
ホールのロビーに直結しています。